

そのメロディに魅せられて♪



『交響曲第101番「時計」』

(『ハイドン:交響曲第94番「驚愕」、第101番「時計」』収録)

カール・リヒター(指揮)、ベルリンフィルハーモニー管弦楽団(演奏)

ユニバーサルミュージック

C1ハ01689 篠崎所蔵

「交響曲の父」と呼ばれるハイドンの、数ある交響曲の中でも有名な曲の一つ。「時計」という愛称は、第2楽章の伴奏の規則的なリズムが時計の振り子を連想させることからきています。ちなみに「時

計」という愛称がついたのは作曲当初ではなく、19世紀に入ってからだそうです。全体を通して軽やかで明るい曲なのでクラシック鑑賞の入門としてもおすすめです。

スタッフのセレクション!



篠崎図書館で働くスタッフが選んだおすすめ本を紹介します。

『小林カツ代伝』

中原 一歩著 文藝春秋 289.1コ 篠崎ほか所蔵

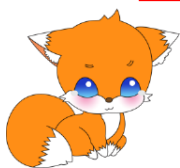
料理研究家・小林カツ代さんと言えば、次々に独創的な時短料理を考案し、気さくでユーモアを交えつつも思ったことははっきりと口にする人、という印象がある。この本は、そんな彼女の波乱に富んだ人生を綴った評伝である。意外なことに、彼女は結婚するまで料理は一切したことがなかったという。しかし、大阪の商家の生まれでお嬢様育ち、料理上手の母と料理道楽の父の影響で味覚が鍛えられ、天性の舌を持っていた。一方、幼少時から絵を描くことが好きで、漫画学校に通ったり、日本舞踊の花柳流の名取というように芸術方面にも長け、探求心と行動力も相まって、普通の主婦だった彼女が、料理研究家として活躍していく。

彼女の生み出す時短料理は単なる手抜きではなく、自らも二人の子供を育てながら仕事を持つ女性の立場で、「料理は科学であり化学である」という信念に裏

打ちされた理にかなったものであるということが、この評伝を読んでよくわかった。しかし、病に倒れて闘病生活を余儀なくされ、その間に夫との離婚、同じく料理研究家となった息子のケンタロウさんの交通事故と、波乱続きの晩年であった。

そんな中、本文のあとがきにある、娘のまりこさんがカツ代さんレシピの「鶏の唐揚げ」を友人にふるまった時のエピソードが印象的だ。今まではなかなか母のように上手に揚げることができなかったが、その時はたまたまカリッと香ばしく揚げ、母の味どおりに仕上げる事ができた。友人からも絶賛されたという。「母の味を忠実に再現できれば誰だって喜んでくれるのか。母は亡くなったけれども、母のレシピは生き続けている。」この言葉は、雲の上のカツ代さんもきっと喜んでいていないだろうか。

刊行頻度変更のお知らせ



平素より図書館報「ぷらっつ☆篠崎」をご愛読いただきまして誠にありがとうございます。これまで隔月刊で発行してまいりました「ぷらっつ☆篠崎」ですが、次号(2017年10月1日号)より季刊(年4回)に移行します。発行日は4・7・10・1月の1日になります。季刊化後も充実した誌面作りに邁進して参りますので、今後とも変わらぬご愛顧をお願い申し上げます。

編集後記

タイムスリップできるなら、戦国時代に行って立花宗茂と宴会をしたいです。(風雲ふわふわ丸)／腕時計の時間のズレを放置し続けた結果、10分くらい早くなってしまいました。(徳まる)／目覚まし時計に電池を入れないまま、そろそろ2年ほったらかしです。(モシャリー)

編集・発行: 江戸川区篠崎図書館

住所: 〒133-0061

江戸川区篠崎町7-12-19 篠崎文化プラザ内

TEL: 03-3670-9102

[しのぎ文化プラザHP]内篠崎図書館ページ

<http://www.shinozaki-bunkaplaza.com/library/>

図書館報 ぷらっつ★篠崎 054号

江戸川まいにんぐ 発掘 第54回 行船公園（2）自然動物園

特集
『時 time is ...』

P4 そのメロディに魅せられて♪
『交響曲第101番「時計」』
P4 スタッフのセレクション！
『小林カツ代伝』

江戸川区内のイベントやスポットを、スタッフが調査して身近な情報をお届けする、地域密着型のコーナーです。



日向ぼっこ中のオタリア



プレーリードッグの食事中に來客



今号は行船公園の中にある「自然動物園」のご紹介です。昭和58年（1983年）5月5日のこどもの日、公園内にあった区民プールの跡地に開園しました。動物園には正門と南門があり、南門は都バスの宇喜田バス停から目と鼻の先です。

南門を入ると左手にリスザルが愛らしい仕草で迎えてくれます。右手はレッサーパンダです。見学に訪れた日は奥の部屋から出たり入ったり落ち着かない様子でした。シロフクロウやコウノトリ、リスたちを眺めながら進んでいくとワラビーがいます。ワラビーは江戸川区の姉妹都市、オーストラリアのゴスフォード市（現セントラルコースト市）より寄贈され、平成元年（1989年）5月5日に一般公開されました。この年の3月、自然動物園はオーストラリア政府認定動物園になったとのことです。

他にもオオアリクイやペンギンなどがいましたが、一番印象に残ったのはオタリア（アシカの仲間）です。日の当たる壁に前足を着け、後ろ足で立つ格好で水面から顔だけを出して気持ちよさそうに日向ぼっこをしています。そのすぐ後ろでもう1頭が横向きにプカーっと浮いて、たまに鼻だけ出して息継ぎをし、ゆったりと漂っていました。ふれあいコーナーでは子供達がウサギやヒツジ、ヤギなどと遊んでいました。その賑やかな声を背に出入り口に向かうとそこが正門。目の前の広場でも子供達が元気に遊んでいました。

2号にわたってご紹介した行船公園。動物達に癒され、庭園でリラックス、広場でお子様達と楽しく遊ぶ、そんな休日を満喫されてみては？

データ

開園時間：10時～16時30分（土・日・祝は9時30分～）
休園日：月曜（祝日の場合は翌日） 入園料：無料

住所

江戸川区北葛西3丁目2番1号 行船公園内

休館のお知らせ

6月26日（月）、27日（火）

特別図書整理のため篠崎図書館は上記の二日間休館となります。休館中も区内の本、雑誌の返却はブックポストをご利用いただけます。

ライフラインマ篠崎

「汚名」（1946年、アメリカ）

6月4日（日）

14:00～16:00（13:30開場）

場所：篠崎文化プラザ
講義室

定員：50名（当日受付制）

講演会

「健康になる呼吸法」

7月1日（土）

14:00～15:30（13:30開場）

講師：麻生 あき子氏（獨協大学オープンカレッジ講師）

場所：篠崎文化プラザ 講義室

定員：50名（事前申込制）

6月11日（日）14時より受付

電話（3670-9102）またはカウンター